

地震への恐怖と不安！ 守りたい！ 守ってあげたい！

～第10回 国土セイフティネットシンポジウム～

どうする地震災害 今わかること 今できること 今すべきこと

・・・頭で考え！ ・・・体で感じて！ ・・・心に刻む！

いつ襲ってくるかわからない恐怖と不安に知で備え、
生と死の分かれ目に、あなたを守る情報、守れる情報を提案します。

【シンポジウム趣旨】

独立行政法人防災科学技術研究所、NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会、および日本地震工学会は、多くの機関や団体と連携し、いつ襲ってくるかわからない地震への恐怖と不安から、「守りたい！守ってあげたい！」ための、さまざまな地震ハザード・リスク情報の有効利用を提案致します。

忘れられない地震への恐怖

記憶から薄れる防災意識

いつ襲われるかわからない地震の恐怖と不安

「地震ハザード・リスク情報」を

知って、活かして、備える

そう！今こそ必要なのです！



平時の備え
直前の備え

直後の対応
被災後の復旧

【開催情報】

日時：平成23年2月3日 13時00分～16時50分

場所：パシフィコ横浜 / アネックスホール 205・206会議室

主催：独立行政法人 防災科学技術研究所、日本地震工学会、
NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会

後援：内閣府政策統括官(防災担当)、人と防災未来センター、
東京商工会議所、財団法人 地震予知総合研究振興会

申込方法：第15回震災対策技術展HP からお申込み下さい。
http://www.exhibitiontech.com/etec/semi_form.html

お問合せ：NPO法人リアルタイム地震情報利用協議会事務局
TEL 03-5366-2720 FAX 03-5366-2740

参加費無料！
予稿集なんと0円。
来てね！



【開催内容】

- 司会： 上村 良澄(NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 理事)
13:00～13:05 開会のあいさつ(片山 恒雄:NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 会長)
13:05～13:10 主催者あいさつ(岡田 義光:独立行政法人 防災科学技術研究所 理事長)

基調講演

13:10～13:40 阪神・淡路大震災～その体験を語る～

(谷川 三郎:人と防災未来センター 語り部)

今から16年前の想像を絶する恐怖が、今よみがえる！
体験した人も、いつ襲われるか不安を抱える人も、心に備えを！

13:40～14:10 地震リスクに知で備える！

(藤原 広行:独立行政法人 防災科学技術研究所 防災システム研究センター
プロジェクトディレクター)

地震発生の事前・直前・直後・事後において、防災・減災に役立つ様々な地震ハザード・リスク情報を紹介、その利活用と期待される効果を解説します。

14:10～14:35 地震ハザード・リスク情報をどう活かすか

(目黒 公郎:東京大学教授 生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長)

地震ハザード・リスク情報は防災に活用されて初めて意味を持つが、その前提には、送り手と受け手の双方による「各情報が、災害前後のどのタイミングに、どのような目的で活用できるのか、その際に求められる精度は」などに関する理解がある。講演では、この理解において鍵となる「災害イマジネーション」に関して解説する。

14:35～14:45

(休憩:心を休めて)



新生REICについて

14:45～14:55 地震災害から守るための情報を皆様に！

(大保 直人:NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 専務理事)

REICは新たな防災情報の発信基地に生まれ変わります。
- 生命と財産を守る防災最前線に、地震ハザード・リスク情報と緊急地震速報を -

パネルディスカッション

14:55～16:45 地震ハザード・リスク情報にはどんな活かし方があるの？

平常時の備え！直前の備え！直後の対応！復旧への備え！は万全ですか？
いつ襲われても、守りたい・守れる情報として活かせますか？

- <司会> 大保 直人(NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会)
パネリスト 久保 智弘(工学院大学 工学部建築学科 TKK助け合い連携センター 特任助教)
朱牟田 善治(財団法人 電力中央研究所 地球工学研究所 上席研究員)
藤原 広行(独立行政法人 防災科学技術研究所)
目黒 公郎(東京大学生産技術研究所)
山本 貞明(東京ガス株式会社 防災・供給部 防災・供給グループ マネージャー)

16:45～16:50 閉会のあいさつ(早山 徹:NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 副会長)

おわり